

20-53

特14  
706

162

537

THE  
SHINANO  
ONSENSHI

信濃温泉誌  
全

小山正吉著

西澤信成社發行

山高く水清く勝區海内一冠するとい我信濃路一優ものあり  
ぬべき加ふるに淺間れ煙白根れ焰の各所に數多き鑛泉を湧出  
せしめ勝區に一層の光景を添ふとい謂ゆる天府の眞美を彰と  
すもの一やあらん夫れ身の病ひは心より起るもの多く心の地  
一養ふ一多しとせば勝景の温泉場心身と榮養するに於て現實  
一有効あること何んの疑ひか有りぬべき眼に悦び心一娛む是  
ぞ保養の眞諦なれ保養と健全の素健全の人生最大幸福れ基善  
ひかた北山居士の信濃温泉誌の著ある是皆世の心を榮ゆる人  
と身を養ふ人の榮とあさんぎる旨に外ならき卷を繙けハ綱  
羅悉くして叙事亦正を失はき多病れ余居士れ好意を欣び聊か  
一言を卷首に措きぬ

壬辰立夏前一日

浮萍散士しるす

例言

一本書之信濃全國の各温泉場の光景及び主  
治効用と概知するの便を計るが爲め編  
纂せしものあり然れども土地僻在し浴客  
少く若くは療病に効驗なき地は已むと得  
ず記事と省略し又ハ全く省さく載せざる  
もれあり  
一書中の文章と平易簡明にし且つ傍訓と施  
し以て何人よも讀み易きと主とせり  
一書中載する旅舎營業人姓名ハ正實ふ業と  
營むものゝとて撰み他は之と省く但し▲  
ハ内湯を有するの標記なり

編者識

目次

- 鹿教温泉
- 靈泉温泉
- 別所温泉
- 田澤温泉
- 小谷温泉
- 山田温泉
- 澁温泉
- 安代温泉
- 湯田中温泉

信濃温泉誌



信濃ハ東山道中の大國にして北陸東海兩道  
ハ狹河遠江參河北ハ越中越後の十州に界す  
面積大約八百五十三方里之を分割して南北  
佐久小縣諏訪上下伊那東筑摩南北安曇更  
級埴科上下高井上下水内の十六郡とす國內  
通じて海面より高さ凡そ一千尺以上と在  
り諸山と西方に屹立し戸隠山と北境と要し御  
嶽ハ西南に聳ゆる駒ヶ岳と伊那筑摩の郡境ハ  
乾ち山脈國中ハ蜿蜒して四大河其間に發し

て南北ハ流下す中山道ハ東南ハ串通し北國  
往還ハ東の方中山道より分岐し北の方越後  
の國境ハ至る道路險峻にして搬運便からざ  
然れども鐵道國の北部を貫通して近時大に  
行通の便と開けり所々に平地ありて山水の  
風致ハ富み名所舊蹟亦た頗る多し田毎の月  
久米路の橋川中島古戰場米子瀧寐覺の床百  
間瀧等の其最たるものあり國內所々に鑛泉  
湧出し浴客毎年凡そ數百万人の多きよ及び  
又外人の風色と愛して來遊するもの年に多  
たど加へり氣候南に接するの地と稍や温暖  
なりと雖北方ハ極めて寒く積雪三四月ハ至  
りて漸く融するに至る

鹿教温泉 (小縣郡 西内村)

本泉の無色透明無味無臭なる塩類泉あり含  
有する處の各成分及び其量左の如し

(鹿教湯) 反應の中性よまて弱亞兒加里性  
と呈す

硫酸格魯兒 多量 加爾 基少量  
麻屈涅失亞 少量

溫度 華氏百〇四度

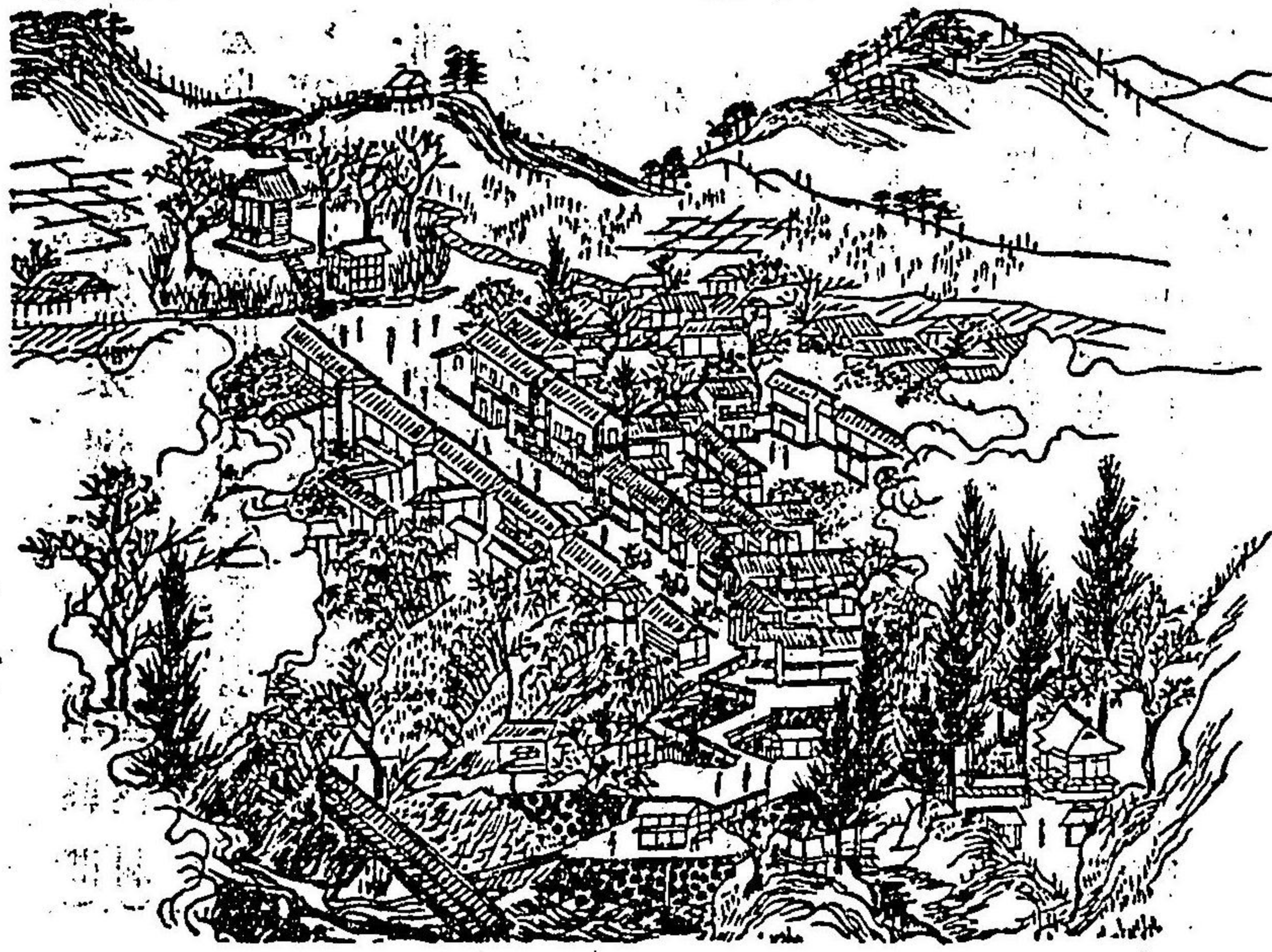
主治効能 中風、中氣、總く筋氣の病、痛風、  
小兒足弱く歩行せらざる症、月經不順、頭痛、  
眩暈、立くらみ、痰一切肩の凝り、痔疾、産  
後疔瘡後總て長病後肥達兼たる、子無婦人、  
疥癬、腫物類、打身切底、毒虫のさしたる、白  
血、心が血、脚氣、寸白、麻病、せうかち、疝氣  
癩等も効あり

すといふ古歌あり曰く

ありがたや文珠の誓ひあらわれて

かたの湧湯と千代もつたせし

土地 鹿教温泉場と字高梨に在り上田と  
距る西南五里許人力車を走らすれば僅かに  
三時間にして到着すべし西内の戸數百八十  
余戸三面山を環らせども東の一方と開て道  
路稍や平坦なり村と宛も丁字形をなすし家屋  
甚だ美あり皆旅舎と業とす茲に出せる圖と  
近傍稻荷山より全村を望みたる風景あして  
圖中の橋の五臺橋と名づけ鹿教湯川に架し  
て文珠堂へ一通橋なり夏の夕此の橋上あて  
納涼とあすもの最と多し



(河原湯) 硫化水素痕跡を含む其他諸反應

及泉質鹿教湯も全し

溫度 華氏百二十七度

主治効能 疝氣、癩つか、冷腹痛、眼病、疥  
癬等に効あり

沿革 往昔一獵夫あり山中入りて鹿を射  
る鹿逸まて深奥に逃れ其影と失を數日を経  
て獵夫また山に入らんとま路に瀝水中の一  
鹿の浴するを認め矢と擬を鹿忽ち逃れ隠る  
これ前日山中射さるもの瘡痕全く癒して  
飛走自在、獵夫怪を行きて檢するも温泉に  
てあどまう其瘡病に効驗あると悟して近  
傍の諸人に告ぐ後村人こゝに浴槽を構へ  
て以て今日に至れり鹿教の名蓋し爰より因



屋美よして配置宜きと得宛然一大庭園の形  
 となせり靈泉寺川村の正南を流れ更に一層  
 の風致と添ふ村の入口に巨刹あり靈泉寺と  
 いふ 冷泉天皇の御宇空也上人の開創あり  
 くり 平維茂の開基せしありと古棟札寺記  
 に見ゆ後ち寺門衰廢せしうば弘安元年ふ至  
 りて和田城主平繁有之を再建せりとあり該  
 寺之鎌倉建長寺の末寺ふ屬し多く古代の寶  
 物と藏するを以て其名世に高し  
 この地近傍の諸山多く木と生せ点々老樹  
 の溪間に鬱蒼たるのみ風光甚だ佳きも瀟湘  
 の例にあらいて好事の人茲にも入景といふ  
 もの撰び定めぬ

別所温泉 小縣郡 別所村

本泉之源泉數十ヶ所各泉質を異にす含有す  
 る所の各成分及び其量左の如し

(石湯) 無色透明にまて硫化水素臭あり其  
 反應ハ亞兒加里性を呈す  
 硫化水素 〇、〇〇六五瓦 硫 黃 中量  
 格魯兒 少量 加爾基 少量  
 麻屈涅失亞 極少量  
 温度 華氏百十三度

(久我湯) 無色透明亞兒加里性にして硫化  
 水素 〇、〇〇五瓦 含有す  
 温度 華氏百〇五度

(大師湯) 源泉二ヶ所にし其反應成分久  
 我湯と全し

殿上山の雪 御屋敷城趾の松風 兒淵れ  
 螢 靈泉寺不明門 城山の月 平井の井  
 二ツ石れ垂栗 靈泉温泉  
 浴客 一年平均一万人余  
 氣候 酷暑華氏八十九度大寒全三十度とを  
 物産 松茸 山叔魚 栗 蕎麥等あり  
 食物 鳥肉 野獸肉 岩魚 海魚等あり

温泉 宿

ふじ本湯 藤茂三郎 和泉屋清水源五郎  
 ふトや湯 藤作太郎 赤かや湯 藤由太郎  
 藤野屋湯 藤久太郎 藤田屋今井 藤吉  
 嶋や清水 架波太郎 今井屋森内 かけ  
 まのや清水 傳十郎 萬象樓清水 豊八  
 湯藤 平七

温度 (甲) 華氏百十一度 (乙) 全百十度

(大湯) 源泉三ヶ所共に微黃澄明なる單純  
 泉あり其反應は亞兒加里性にして甲ハ硫  
 化水素極少量と含み亞酸化銹痕跡あり乙  
 ハ硫化水素 〇、〇〇五瓦を含有し諸反應と甲  
 に全ク丙ハ無色澄明にして諸反應及び成  
 分乙泉に全ク三泉相合して湯濁よ入る  
 温度 華氏(甲丙)百十一度(乙)全百十三度  
 (支齋湯) 諸反應及び成分容量大湯乙線お  
 全し

温度 華氏百十一度  
 (柏屋内湯) 無色澄明反應ハ中性にしく煮  
 沸後亞兒加里性を呈す  
 格魯兒 少量 硫 酸 少量

石 灰 少量 麻屈涅更謨 僅微  
 硫化水素 〇〇七五八瓦 鉄 痕跡  
 温度 (甲)華氏百十二度半(乙)全百十一度  
 (丙)全百〇五度

(倉澤内湯) 一名健の湯と稱す成分容量等  
 石湯ふ全七

(赤湯) 倉澤良治所有地内に有り無色透明  
 無臭無味反應の中性よえて煮沸後亞爾加里  
 性を呈す

稀魯兒 少量 硫 酸 少量  
 石 灰 少量 麻屈涅更謨 僅微  
 硫化水素 極少量 鉄 痕跡

温度 華氏七十二度  
 効驗 以上の鑛泉畧は同一あると以て一々  
 掲ぐるの煩を避り左に括載す

慢性癩麻質私、筋強直、慢性痛風、疥癬、禿瘡、  
 齧瘡、中風、濕疹、乾癬、挫瘡、慢性潰瘍膿疹、  
 慢性丹毒、梅毒(殊に頑固なる經久の梅毒)  
 下腹充血、全身多血、肝臟腫大、鉛水銀等の  
 慢性毒、子宮及び卵巢の慢性加答兒、月經不  
 順、慢性關節炎、骨病、創傷炎の遺殘、癱患等  
 (參考) 硫黃泉は潜伏せる梅毒と發現せし  
 免沃度劑若くハ水銀劑と用ゐて之と驅除す  
 るに適す又咽喉慢性加答兒及氣管支加答兒  
 に吸入せしめて偉効ありとす

沿革 不詳

土地 別所温泉(一名七久里温泉と云ふ)の  
 上田停車場と距る僅々二里半なるを以て浴  
 客來往の便利頗る宜し土地高燥にして北に  
 之千曲川の清流と隔て、遙りに上田全市と  
 瞰み東南には淺間黒姫の峻嶺突兀として雲



表お聳え眺望快潤、夏日此地に暑を避り病  
 を養ふんとく外國人來り遠客入り近傍の人  
 集るもの年内平均二十万人余なりといふ村  
 の中央に北向山觀世音あり 淳和天皇天長  
 二年の頃比叡山慈覺大師 勅と奉て開創  
 し玉る之靈場ありて靈驗特に著しく世の信  
 男信女遠近集ひ來りて冥護と祈るものまた  
 甚だ多し

古來名流の來て此地に浴し花に詠之月お吟  
 せし遺墨甚だ多し今一々之と擧ぐるに遑あ  
 らず其秀逸なるもの一二と左に

信濃ある男神女神の夫婦山  
 百夜もあかねをたらしのさゆ

救世の誓ふから恵の北向よ

湧やいづこのくもりあるらん

氣候 暑さも華氏八十九度寒さも全二十四  
五度と降らず

物産 蚕種、生糸、松茸、栗、柿、湯晒艾、蘭花  
漬、獨活、蕨、山萩等なり

食物 鳥肉、牛肉、鯉、鮎等あり汽車の便開  
けより海魚も日々輸入せ

温泉 宿(院内)

▲柏屋齋藤喜右衛門 上 星倉澤 良治  
まつや倉澤 友作 まつや倉澤 桂藏  
稻葉屋南條吉左衛門つたや山崎藤十郎  
大嶋屋西嶋傳兵衛 萬 屋上原 要松  
新井屋黒坂 助作 櫻井彌惣治

素 〇、〇九五瓦を含有す

温度 華比百〇四度

(有乳湯) 反應の仙人湯に全し硫化水素〇、  
〇八五瓦を含有す

温度 華氏九十九度

醫治効用 慢性筋僂麻質私及筋強直、慢性  
痛風、各種神經痛の僂麻質私に因する者及  
痛風、慢性皮膚病、梅毒、下腹充血、全身多血  
、肝臟腫大、子宮及卵巢の慢性加答兒、月經  
不順、慢性關節炎、骨病、創傷炎の遺殘、癱瘓  
等及び鉛水銀等の慢性中毒に飲用せしめて  
効ありとす

發見 文武帝の頃役の優婆塞小角行者之と  
發見す

土地 田澤温泉の地の上田停車場と距る西

大島屋西島要治郎 久保屋齋藤半五郎  
辰巳屋中澤武右衛門まつや齋藤綱太助  
▲倉澤五郎左衛門 松 屋倉澤仁兵衛

大湯旅舎

緑屋山極吉右衛門 つるや山極鶴次郎  
玉や山極嘉右衛門 和泉屋惣澤藤右衛門

田澤温泉 (小縣郡) 青木村

本泉の無色澄明ある硫黄泉あり其反應と弱  
亞兒加里性よえて含有する所の各成分及び

其量左の如し

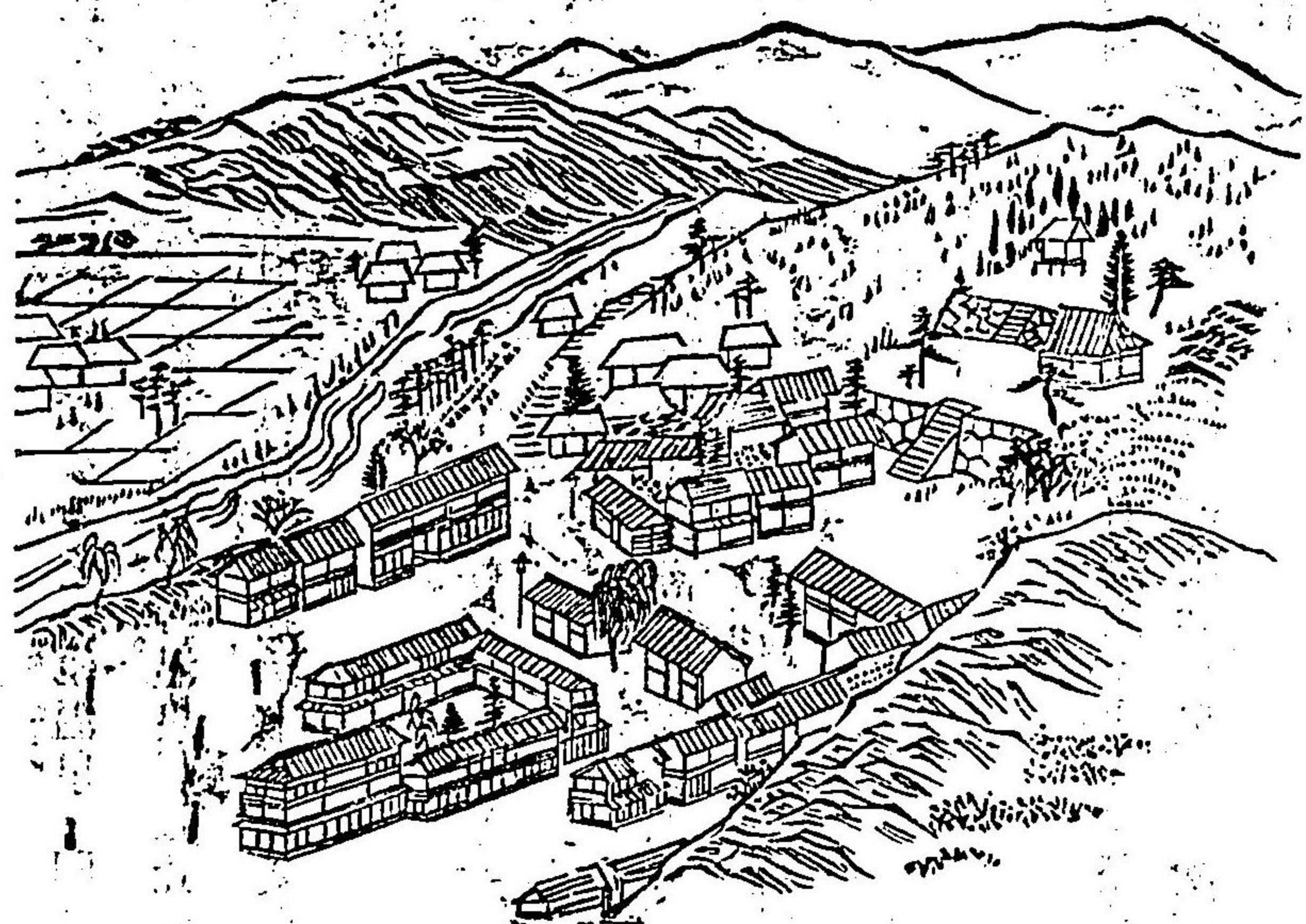
(子持湯) 硫化水素〇、〇八五瓦 硫酸少量

格魯兒多量 加爾基極少量 麻屈涅失亞

痕跡

温度 華氏百〇五度

(仙人湯) 反應の亞兒加里性よしく硫化水





方三里十町旗鉢山の麓に位す南北西の三面に旗鉢、聖澤、湯の平、勝負澤等の諸山と負ひ土地高燥海面を抜くと二千〇六十三尺東に千曲川を隔く、雲煙縹渺の際遙かに上田、小諸、追分等の諸市街と望み眺望絶佳と稱す

茲に畫けるは近傍旗鉢山の半腹より浴場全体を望める風景にし、中央ある二棟の共同浴室なり其西方小高き處と温泉薬師となす境内は無数の花木繁茂し緑樹陰濃ある所浴後の散策に屈強の地なり温泉宿の総て十戸計に過ぎざれどもその構造甚ぐ大にして一戸概ね數十の客室を有し室内よく清潔なり

小谷温泉 (北安曇郡 中土村)

(元湯) 本泉は無色清澄ある亞爾加里性炭酸泉にして灰汁様の味を帯び異臭なく反應は弱亞爾加里性と徴し比重ハ攝氏拾五度於て一、〇〇一八三ニ居る而して之が定量分析と遂ぐるも其一「リットル」中に含有せる固形物の總量ハ一、八一六瓦ハして其主要成分の瓦量左の如し

總炭酸	一、六四五	那篤倫母	〇、九三九
珪酸	〇、〇五五	加里	〇、〇二三
格魯兒	〇、〇五五	加爾基	〇、〇三〇
磷酸	痕跡	麻屈涅失亞	〇、〇三三
硫酸	痕跡	酸化鉄	痕跡
礬土	痕跡		

且つ其滞在費用の廉なること他温泉と同くして往々華奢を衒ふ東京近傍温泉場れ比にあらす土地閑雅、風俗朴素病と養ふに最も適當の場所なり

氣候 極暑華氏八十五度極寒全卅度とす  
 浴客 一年平均三万人余  
 物産 串柿、生糸、松茸、諸菓物等なり  
 食物 牛肉、鳥肉、野獸肉、岩魚、やまめ、鯉、海魚等あり

温泉宿

養神館料や庄右衛門 有湯館たよりや榮藏  
 原泉館藤屋平右衛門 蓬萊樓和泉屋文次郎  
 白雲館みどりや庄吉

温度 華氏百拾四度

醫治効用 粘膜の慢性加答兒、胃弱、腺病、肥滿症等に効あり

(新湯) 本泉は源泉ニケ所甲は無色澄明味鹹濁ありて刺戟せし微弱の鉄臭と帯ぶ其反應は強亞兒加里性に去て含有する処の各成分及其量左の如し

(甲) 炭酸	〇、五〇三瓦	格魯兒	多量
珪酸	極少量	礬土	極少量
加爾基	中量	鐵	痕跡
麻屈涅失亞	多量		

固形分合計二、〇七七二瓦  
 温度 華氏百二十一度

(乙) 氣味反應總て甲泉に異からず  
 温度 華氏百廿三度

(熱湯) 本泉の源泉四ヶ所にして無色透明なる炭酸泉あり其反應は亞兒加里性にして含有する所れ各成分の量左の如し

炭酸	多量	格魯兒	多量
硫酸	痕跡	硅酸	少量
加爾基	極少量	麻屈涅失亞	少量
樹大圭	少量		

固形分合計二、二二四四瓦  
 温度 (甲)華氏百卅九度(乙)全百六十七度  
 (丙)全百八十五度(丁)全百八十四度四泉湊合する所全百二十二度

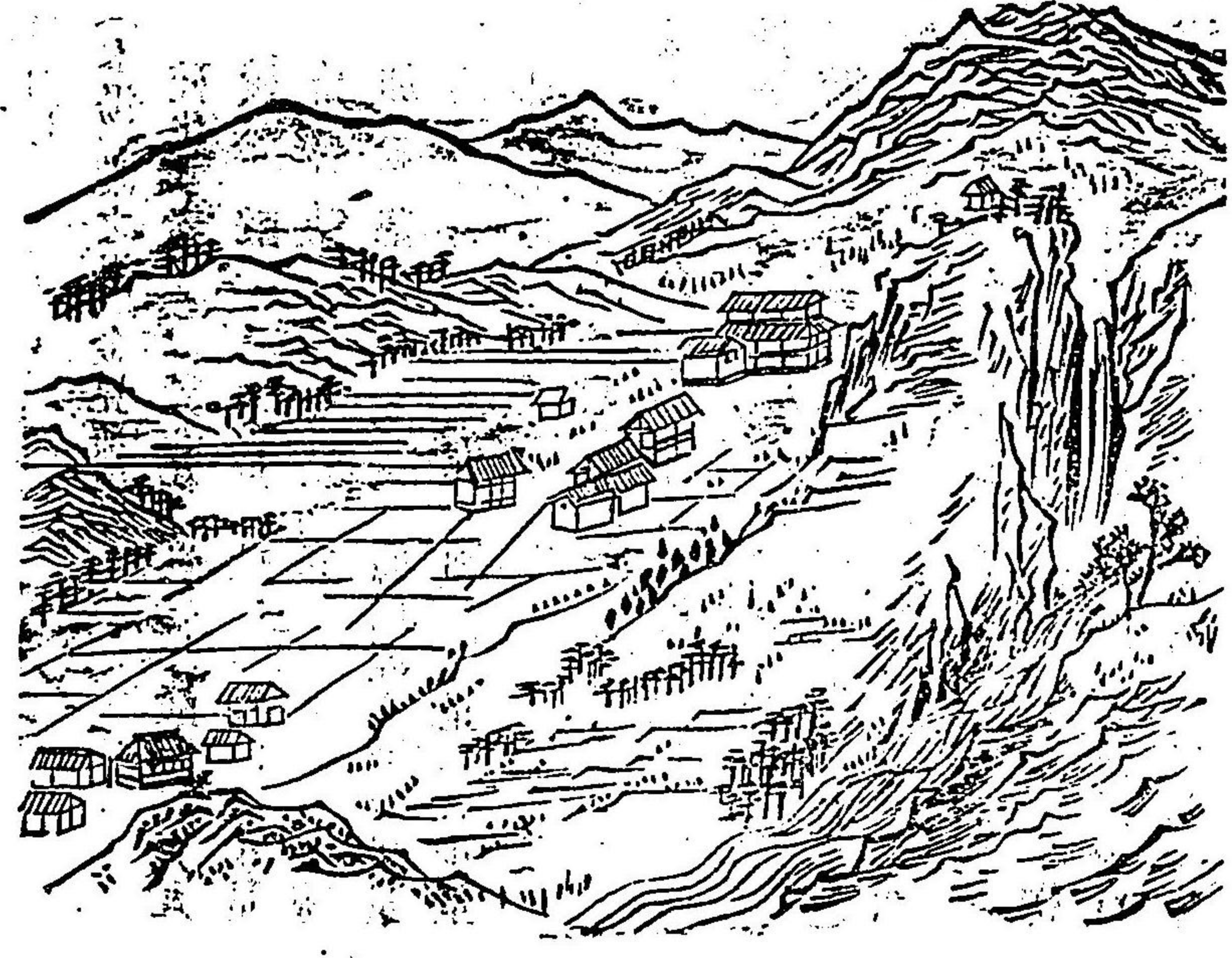
主治効能 以上三泉略ぼ同一あるを以て左に括載す  
 慢性胃加答兒慢性泡酸に因する消化不良、胃圓形潰瘍、慢性腸加答兒、下腹充血、肝充血及膽石、喉頭及咽頭の慢性加答兒、慢性氣

土地 小谷温泉の地は北安曇郡に屬し東に上水内郡に隣り西北に一帶の山脈と隔て、西、中頸城の二郡に接す土地高燥にして海面を抜くこと一千百尺名山勝區各所を散在し見るべきもの多し鬚剃、丸尾の二大瀑布の前面の山腹より發す怪岩奇石澎湃然其際より突起し散しては霞とあり合しては一線とあるの狀その奇其妙人として覺えず快哉と叫ばじむ、長野より柏原まで汽車を賃し同所より山路六里此間人力車を驅れば僅かに半日程おして到着すべし、田口停車場を距る七里十八町糸魚川よりは八里弱とす土地開雅空氣清爽神と發る病を治するに最也

管支加答兒、尿道膀胱及腎盂加答兒、慢性肺炎及胞膜或は腸膜内の滲出物、腎石及膀胱結石、婦人生殖器の慢性加答兒、痛風尿酸病、腺病、肥胖病、多血病等に効あり

(参考) 炭酸泉の浴用吸用共に最要用なる泉類にして殊に飲用して以上の諸症に効あるのみならず之を浴用に供すれば皮膚を刺戟し表皮と膨脹せざめ皮胎を石鹼化するの能あり殊に慢性胃加答兒の粘液分泌過多にして咽喉の加答兒を兼て早晨嘔吐を發する者に此泉を無心にお飲用せしむれば粘液を溶解して之を送下し胃中を清潔ならせり以て消化機能を恢復す

沿革 不詳



屈強の地あり

氣候 大暑といへども尙華氏八十度に達す

ると稀あり極寒全三十四五度とす

浴客 一年平均三万人余

物産 鯉、鮒、はし、うとうぶさ等あり

食物 鳥肉、野獸肉、川魚、海魚等あり

温 泉 宿

大湯元 山田 誠一 湯元 大田 岩吉

熱湯元 太田豊太郎

山田温泉 (上高井郡 山田村)

本泉は無色透明なる鹽類泉あり硫化水素臭を帯び鹹味あり其反應の酸性にして「リ」  
「テル」中に含有する所の各成分及其量左

の如し

(本湯、瀧之湯、金昆羅湯)

硫化水素 〇.〇〇八五瓦 炭 酸〇.二五六瓦

硫 酸 多量 珪 酸 少量

格魯兒 多量 礬 土 痕跡

加爾基 多量 麻屈涅失亞 多量

鉄 痕跡 加里 少量

那篤倫母 少量

固形分合計四、九五五瓦

温度 華氏百四十四度 華氏口百廿二度

効驗 内服外浴共に左の諸病効あり

脂肪過多症(肥胖病)慢性便秘(即常習便秘)

殊に座業便秘、全身多血及逆上、又上衝症、

肝臟肥大肝臟充門血脈閉塞及痔疾、胃腸の

慢性加答兒及神經性弛緩症下腹充血、氣鬱

症、各種慢性癱瘓質私及假性關節強直或の

癱瘓質私性筋肉孿縮症、慢性痛風、臟腑の痛

り左に

山田温泉客舎偶作 小野湖山

開裏亦知冬景短 餘醒初解日西斜

快心何管千金價 浴後飯前三椀茶

山田浴中偶作 中嶋撫山

跨瀨又穿山 中有靈泉泌 高濯俗寰塵

近傳仙壽術

土地 淺間、白根の火山脈國の東北に巒巒

ま其各凹處に於て温鑛泉湧出す山田温泉

も其一あり山田温泉場と長野町と距る東北

六里許の處に在り笠ヶ嶽、横手、乳山、池の

塔の山脈その三面と圍みて西の一方のみ開

けり土地幽邃空氣清涼實に一の小仙境なり

泉源は最も多きを大湯となす方一丈余の漕

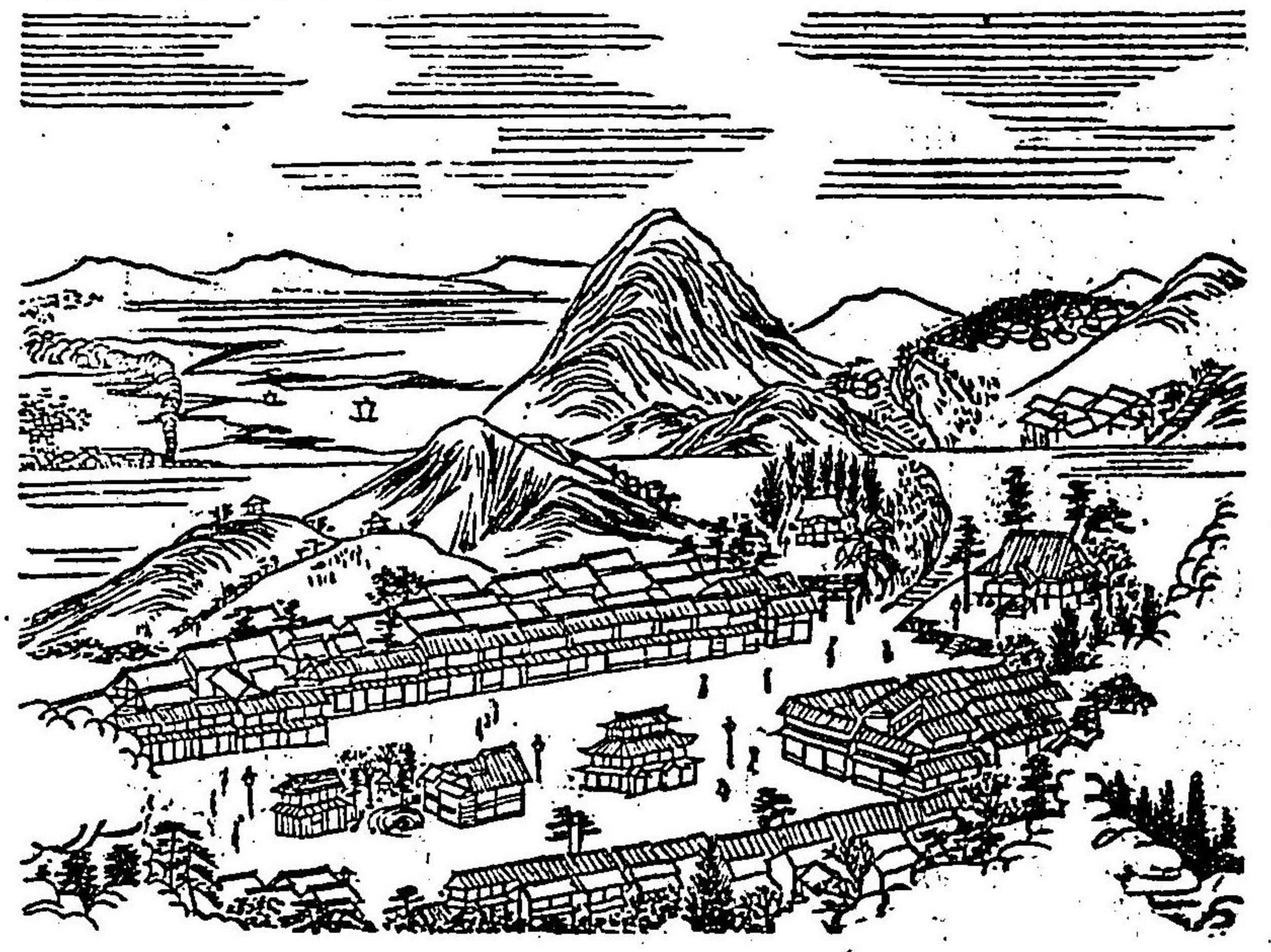
中滾々として日夜尽くる時るし之を亞々と

みし後腫のひかぬ病切瘻打瘻の迹へ腫の殘りたる病、疝氣病、疝癢、留飲、しびれ病、胃弱、永き中風、婦人生殖器の慢性諸病、腺病、慢性皮膚病、經久の梅毒類

沿革 この温泉を發見せしは元暦元年のとありしが當時の僅かに沙石を潤すばかりに有様にてそのほら玉を磨きて光を放たしむると得たりと元和五年福嶋正則封を此の國に移せしとき領主の請よりて幕府の允許を受け今の温泉と距ると十四丁余なる字湯平に浴室を開くととなりぬ今の所に遷りしは寛正二年の事なり古來名流の來たしてあつに浴したるもの多し一々之を擧ぐるお

追ひらむ小野湖山、中嶋撫山兩家の絶句は

瀧湯と稱す去る二十一年中の新築あり、と  
 浴場最と廣く且つ清ま此他兩三ヶ所れ共構  
 造皆宜きと適す茲の掲げたるの浴場全体の  
 風景あしてその中央の二棟の共同浴場あり  
 其東方小高き所の金比羅神社と祭るの処傍  
 らに一の森林あり樹木鬱として古色千載石  
 上苔の蒸せる所より露瀼より小溪を隔る前  
 山の中腹は一面雜木と生じ岨起つて幾百丈  
 とも云ふべき頂邊の悉く芝を負ひて頗る風  
 致に富む若し夫れ秋色熟するの時滿山錦を  
 飾るに至れば燦然湯面に映射しく更に一層  
 の興味を添ふと云ふ、背後に一少丘あり小  
 屋場公園と名づく西方と開豁あえて飛彈の



る、の鎌田平七二川の巖魚を、鐵道の便開  
 けてより海魚をも得つべし

温泉 宿

- 遊神館 藤井東兵衛 靈泉館 湯本庄左衛門
- 松本や 良右衛門 平田や 永造
- 田中や 利七 湊や 巨十郎
- 永樂 重三郎 松本 柳藏
- 片桐 助太郎

瀝 温泉 泉  
 〔下高井郡 平穩村〕

本泉の微に白濁ある普通の塩類泉にして少  
 く澁歛味と帯びたり其反應の殆んど中性あ  
 して比重一、〇〇二三に居る「リール」  
 中の蒸發殘渣の全量の一、二六三瓦にして  
 含有する所の各成分の量左の如し

諸山及妙光、飯網の峻嶺峨々雲際屹立せ  
 ると望み善光寺平と稱ふる地又眉捷の間に  
 在り風光絶佳と稱せ、豊野停車場と距る三  
 里半此間人力車に賃せば僅に二時間あしく  
 到着すべし東京より一日北越より半日の  
 路程とせ

浴客 一年平均五万人余  
 氣候 華氏寒暖計にて極暑八十九度極寒二  
 十度あり  
 物産 挽物細工を主とす其外蠶籠、笊、箸、  
 下駄等あり  
 食物 蕎麥、兎、貉、鹿、熊、猿、雉、山鳥、家禽  
 、筍、茸、蕨、紫蕨、獨活等とあり尤賞美せら

(大湯) 格魯兒〇、三四 酸化鉄及礬土〇、〇二六  
 硫酸 〇、三〇九 炭酸〇、〇一〇 石灰〇、二四七 苦  
 土 僅微 那篤倫〇、三五五 硅酸〇、二三五 加里  
 〇、〇〇七 沃度痕跡 磷散痕跡 硼酸痕跡  
 温度 華氏百六十三度浴槽百度乃至百廿度  
 効驗 各種慢性癩麻質私及假性關節強直或  
 癩麻質私性筋肉攣縮症、慢性痛風、諸脈衝  
 或ハ創傷後の滲出物或ハ組織肥大例をハ慢  
 性肋膜炎、子宮周圍峰窩織炎、骨盤内膜炎等  
 の滲出物と吸収し其肥厚と解散す、神經機  
 元盛の諸症或は各種神經の麻痺經久の腦脊  
 髓中風、智覺過敏、依ト毘埜兒、歇私的里、神  
 經衰弱症、婦人生殖器の慢性諸病、腎孟加答  
 兒、膀胱加答兒、累久の梅毒等この他水銀劑  
 療法後の患者に之其時期を撰み之を用ゐて  
 効ありとす

(初湯) 無色透明其反應は亞兒加里性あり  
かろとくそめい

少量の鹹味と含じ  
 硫酸 中量 格魯兒 多量  
 麻屈涅失亞 少量 加爾基 中量  
 亞酸化鉄 痕跡 炭酸 少量  
 効驗 慢性癩麻質私、麻痺症、ヒステリー諸  
 神經病、慢性皮膚病、子宮病、白帶下、月經失  
 調、不妊症、寸白、痔疾等に効あり  
 温度 華氏百五十度  
 (笹の湯) 原泉初湯に全ヒ  
 (綿湯) 無色透明あり其反應は亞兒加里性  
そのはんわろ  
 にして硫化水素〇、〇〇〇二四五炭酸極少  
 量と含有す  
 格魯兒 多量 硫酸 中量  
 加爾基 中量 炭酸 少量  
 麻屈涅失亞 中量 硫化水素 痕跡  
 温度 華氏百四十九度

効驗 慢性癩麻質私、痛風、麻痺症、神經痛  
 脊髓病、慢性皮膚病、經久の梅毒、慢性金屬  
 の中毒症、痔疾、子宮病、白帶下、月經失調、  
 寸白、不妊症等効あり

炭酸 少量 硫化鉄 痕跡  
 温度 華氏百四十度  
 効驗 癩麻質私、痛風、皮膚病、麻痺症、神經  
 痛、子宮病、腺病、痔疾、金屬中毒症等に宜し  
 (神明瀧湯) 無色透明其反應は上に全ヒ  
そのはんわろ

(七線湯) 無色透明にして其反應ハ亞爾加  
かろとくそめい  
 里ト呈す  
 格魯兒 多量 加爾基 中量  
 硫酸 中量 炭酸 少量  
 麻屈涅失亞 少量

効驗 慢性皮膚病、子宮病、月經失調、麻痺  
 症、慢性癩麻質私、寸白、疝痛、白帶下等に効  
 あり

硫化水素 極少量 格魯兒 多量  
 硫酸 中量 加爾基 中量  
 麻屈涅失亞 少量 炭酸 少量  
 亞酸化鉄 痕跡  
 効驗 皮膚潰瘍、疝痛、等其他初湯に全ヒ  
 (千代の湯) 原泉初湯に全ヒ  
 沿革 神龜年間僧行基之を發見し草蘆を營  
 み庶人に告ぐるふその効驗の著しきと以て  
 一又自ら藥師の佛像と刻みく泉側に安置す  
あんち  
 (今の藥師本尊佛之あり) 後嘉永元年温泉  
 寺開山虎關禪師の經營より今の浴場を爲

(目洗瀧湯) 無色澄明にして一種の硫黃臭  
 を帶、其反應ハ上ハ全ヒ  
 格魯兒 多量 硫酸 散 中量  
 加爾基 中量 麻屈涅失亞 少量

今この藥師本尊佛之あり) 後嘉永元年温泉  
 寺開山虎關禪師の經營より今の浴場を爲

すに至れり

土地 澁温泉の本村字沓野組に在りて上信  
兩國交通の衢路に當り草津温泉を距る六里  
十八丁土地高くし海面と抜くと千六百四  
十三尺無量の鑛泉と所々お於て湧出す中よ  
就き最も大なるものと大湯とあり方二丈余  
の溜り温泉滾々として噴出し晝夜歌ひ時あ  
しこの外地獄谷の湯(一名延命湯と稱す)の  
横湯川の上流にしく岩石の際方二寸許り  
孔中より噴出す其聲轟雷に如し晴日蒸氣騰  
上ると四五丈煙霧となりて飛散す甚だ奇  
觀あり、長野町を距る東方七里十六丁豊野  
停車場より四里廿町此間馬車と驅れば僅



かゝ二時間余よしと到着すべし來往の便昔

日に比すべきに非ず土地幽邃空氣清良暑と

避け病と養ふふの實に適當の地なり

氣候 大暑華比八十五六度に至るも日中僅

々二時間余に過ぎず朝夕の七十度乃至七十

二三度を昇降す極寒四十度内外ありとす

浴客 一年平均七万五千人余

物産 山葡萄、花梨、松茸、まめじ、獨活、山

欵冬、この他山竹、曬鹽細工、竹細工、白箸類

、延壽帶、ゆたなば、湯の花等あり

食物 岩魚、やまめ、鯉、鮒、鮓、鳥肉、野獸肉

海魚等あり

温泉宿

- ▲棲鳳館 菱屋 寅藏 ▲原泉館湯本喜四郎
- ▲博愛館吉田忠右衛門 ▲山本 喜藤次
- ▲潜龍館金具屋中四郎 角屋 利左衛門
- 清華館穀屋市左衛門 松屋 榮八
- ▲大和屋 吉郎次

安代温泉 (下高井郡 平穩村)

(油氣湯) 本泉の無色清澄なる塩類泉なり  
其反應の亞兒加里性にして含有する所の各  
成分及其量左の如し

格魯兒	多量	硫	酸	中量
加爾基	中量	麻屈涅	失亞	少量
亞	化鏡	少量	炭	痕跡

温度 攝氏六十二度浴槽五十五度あり  
醫治効用 各種慢性癱瘓質斯、假性關節強  
直、癱瘓質斯性筋肉攣縮症、慢性痛風、諸疾

術、創傷後の滲出物、組織肥大、神経機亢盛、の諸症、各種神経の麻痺、經久の脊髓、中風、智覺過敏、神經衰弱症、婦人生殖器の慢性諸病、貧血、萎黄病、腺病、重病後の快復期、慢性皮膚諸病、頑固の潰瘍、遲鈍性創傷累瘡、骨瘡等も尤も効顯あり

(開化湯) 泉質及反應疝氣湯に全じ

格魯兒	多量	硫 酸	中量
加爾基	中量	麻屈涅失亞	少量
炭 酸	痕跡		

温度 攝氏六十度

醫治効用 疝痛、寸白、白帶下、月經不順、梅毒の末期、麻痺病、痔疾、胃腸の慢性加答兒及慢性胃弱症、神經病中風の末期、諸神經痛等に効あり

沿革 この地往古は横湯河原と稱し茫漠たる砂原なり之が一異僧(年代不詳)來て鑛泉

の湧出するを發見し地と穿ち石と四方に圍と僅かに浴場の形ちを作せ、後ち寶永二年は頃近傍の村民來り集りて稍や完全なる浴場と經營し以て今日の盛況となす。至れり土地 安代温泉の字安代組に在りて湯田中澁雨温泉場の中央に位し上信兩國の通路に當れり家尾軒を列ねて高く結構甚だ美麗なり村の中央に一大湯槽と設け以て入浴に便す人情朴素客に接する極めて懇切あり、この地東の笠ヶ嶽、横湯、岩菅は諸山屏列し南は横湯川に沿ひ西北の開豁よして遙く御嶽、飯綱、黒姫、妙光の諸山と雲霞の際み望み近傍の諸山と古松老杉鬱蒼として林とあじ



風光明媚また一の小仙境あり村の南方に當りて一瀑布あり黒川瀧といふ長さ十八丈余遠く之と望望は宛も白布と敷きたるが如し甚だ奇觀あり人皆見て嘆賞せざるなしと云ふ此他飯綱山、薬師尊等遊覽すべきの古趾甚だ多し、長野町を距る七里十五町豊野停車場より四里二十町此間馬車人力車の便あり土地平坦來往頻繁なると以て賃銀等もまた從て低廉あり

浴客 一年平均四万五千人余

氣候 大暑八十六度大寒四十度内外とす

物産 挽物を主とす其他蕨、筍、水豆腐、子持ばし、湯晒艾、鈴蟲等あり

食物 牛肉、海魚、鰻魚、鯉、鰻卵、鳥肉、野獸の肉等あり

温泉 泉 宿

映星館萬屋 賢吉 開泉館山口屋三郎治  
宮崎 房治郎 藤盛館藤や小左衛門  
山崎 要吉 廣揚館榊屋 與吉  
藤澤屋 貞之助

湯田中温泉 〔下高井郡 平穩村〕

これ温泉の甲乙二源の混交泉にして各其成分と異にす甲の色赤く透きとほろたる類泉あり之れが定量分拆と遂ぐるふ「リテール」中に固形物一、五三四瓦を含有し其各成分は左の如し

〔大湯、鶴の湯、綿の湯、鷲の湯、瀧の湯、千代の湯、脚氣の湯〕

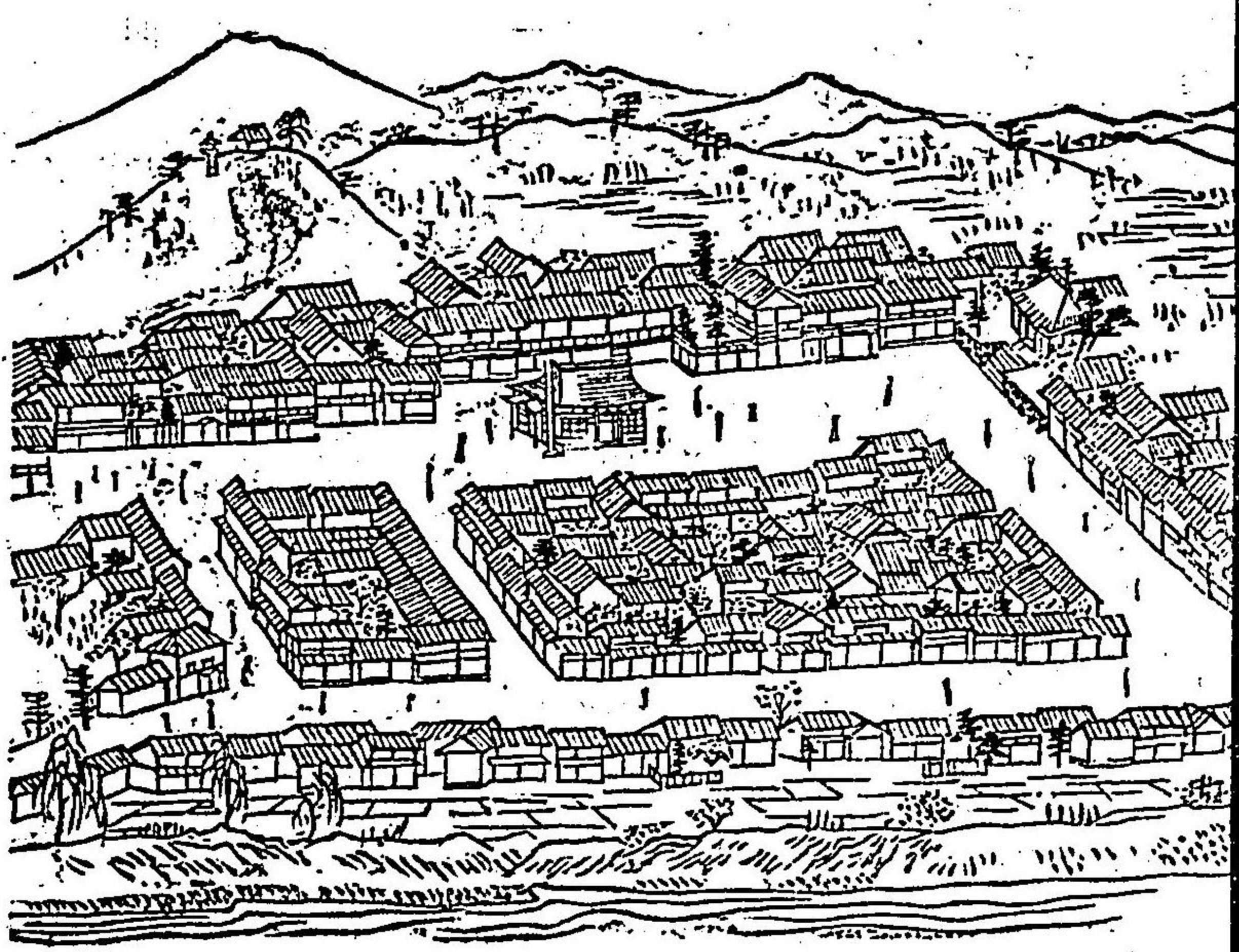
鹽化那 〇、六九五四瓦 硫酸加里 〇、〇六〇九瓦  
篤倫母 〇、〇五二八五瓦 苦土 痕跡  
硫酸石灰 〇、〇五二八五瓦 珪 酸 〇、二八六〇瓦  
沃 度 〇、四三二〇瓦 炭 酸 〇、四三三〇瓦  
酸 化 鈹 〇、〇四三九〇瓦  
乙は無色透明なる硫黄泉あり鹹味ありて少しく硫化水素の氣と帯びたり其反應と亞兒加里性にして「リテール」中固形物一、九三と含有し其各成分は左の如し

硫化水素	〇、〇七九三瓦	麻屈涅失亞	量中
格魯兒	多量	硫 酸	中量
加爾基	中量	珪 酸	少量
炭 酸	少量	礬 土	極少量

温度 華氏百六十三度浴槽百度乃至百二十度あり

主治効能 慢性痲瘋質斯、痛風、婦人生殖器慢性諸病、貧血、萎黃病、腺病、頑固の潰瘍、骨瘍、梅毒、骨膜炎、消化不良、腸胃加答兒、喘息、肝充血、密尿病、疥癬及皮膚諸病、經久の中風脊髓勞、神經機能の亢盛、痲痺、慢性便秘、痔疾、神経痛及腰腎痛、關節炎諸疾、術或ハ創傷後の滲出物、重病後の恢復期等尤も効驗あり

沿革 天智天皇の御宇僧知由この温泉を發見せしが當時の漢としてこの景況を得て測り知るべからず近代に至り藩主真田信濃守近傍の風色と愛してこの地に別荘と結びて以來今の盛況といかりぬ大和國の僧末光の建立せし彌勒佛及び真田氏の別荘ハ今尙其舊蹟を存せり、古來名流の勝と探と病と養





いんとて来りてふゝに浴たたるもの多き今  
一々之れと擧ぐるに違わらば松本前陸軍々  
醫總監會くこゝに遊び賛あり左に

山河靈淑氣流成潭沸泉一浴心神爽再浴百  
病瘥生死而肉骨變枯而回春藥石鍼灸外別  
補造化仁遠近人爭語臨至各競先何白吾浴  
去得試其言眞

土地 湯田中温泉場と宇湯田中組ありて  
上信兩國の通路又當り湯平山に沿ひて一郷  
とある土地高隆海面より高さ千六百四十

一尺無量の靈泉を所々に湧出す泉源の最も  
大なるものを大湯と名せ（見崎屋善左衛門  
宅地より發す）方三丈余の槽中温泉滾々ど  
じと湧出し晝夜を歇すこの他つるは湯、綿

この地長野町を距る七里豊野停車場より四  
里五丁此間馬車人力車の便あり東京より一  
日北越よりは半日の路程とせ  
氣候 極暑華氏八十五六度に達するハ日中  
僅かに二時間余に過ぎず朝夕と七十度乃至  
七十二三度の間と昇降す極寒全四十度内外  
あり

浴客 一年平均四万七千人余  
物産 蕨筍、山葡萄、松茸、獨活、款冬、この  
他箸、ろくろ細工、下駄等あり  
食物 やまめ、岩魚、鯉、鮒、牛肉、鳥肉、野獸  
の肉、海魚等あり

の湯、鷲の湯、瀧の湯等市中各処に散在し  
何れも共同の浴室あり河原の湯ハ大湯と去  
る十數町ある星川の邊りに在りて自然に一  
廓とある四面開豁、眺望甚だ宜き、こゝに掲  
げたる大湯近傍の風景おして全市四分の  
一に過ぎる中央ある一棟之れ即ち大湯と  
ある近傍の家屋ハ皆旅館おして大なる一  
戸數十小あるも十三四の客室を有し各清潔  
を競ひて以て客を待す市内郵便局あり和洋  
酒煙草店あり寫眞師あり料理店、小間物店  
等整然軒と列ねて買客と招く然れども繁盛  
みえく華奢ならず人多くして喧囂あらば神  
と養へ病を治するおは實に適當の場處あり

温泉宿

- ▲見崎屋 善左衛門 中見崎 龜之助
- 穀屋 九左衛門 鶴屋 喜一
- 萬屋 かづ 山本 とせ
- 中屋 多右衛門 島屋 寅助
- ▲湯本五郎治 長壽屋 專右衛門

明治廿五年八月廿二日印刷  
全年全月廿三日出版

編輯者  
發行兼者

印刷者

印刷所

正價金五錢

西澤俊司

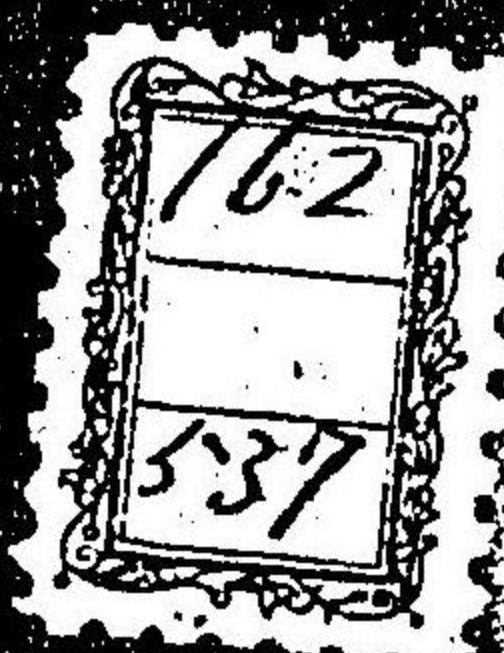
上水内郡長野町  
二千四百四十七番地

清水新太郎

全郡全町  
千二百六十五番地

西澤活版社

全郡全町  
二千四百四十七番地



024894-000-9

特14-706

信濃温泉誌

小山 居士/著

M25

ADC-2177

